

仲間のエピソード

今回、初のニュースレターを書きます。こんにちは・・・依存症の ゆみよん です。
先日、髪の毛を仲間に切ってもらい、あいみよんに、憧れているので、あいみよん風に、してもらったので今回アノニマスネームを ゆみよん にさせて頂きました（笑）
私は、ただ今52歳という年齢になり先々の不安などを抱えながら入寮しています。
30代・40代のほとんどは刑務所に違法薬物で勤めていました。10代から違法薬物を使い続け20代には結婚し家庭も持ちました。結婚した時には大恋愛で、普通の生活を、これからは送るんだ！と、薬物を断とうと心に決めていましたが・・・夫に隠れて又、薬物に手を出しました。夫は1年の3分の1は出張で家に居ず、その隙間を薬物で埋めていました。
結婚14年目にして薬物の使用所持で逮捕され、夫は初めて私が薬物に溺れていることを知ることとなりました。最初の逮捕の時、警察署の前で留置場に向かって大声で名前を呼んだら聞こえるかな？と普段は凄く大人しい夫が信じられないような言動をしていたそうです。1刑目は私が出所してくるのを自分の親族に誤魔化しながら待っていてくれました。私の親兄弟と共に・・・しかし、そんな優しさを裏切り2回目の所持使用で逮捕された時、夫は自分が許してしまうから私がダメになってしまうんだ・・・自分のせい？と自分を責め続け職場に通勤時は何度も線路に飛び込もうとしたり精神的にボロボロになり、私の親兄弟との話し合いの末、離婚という決断を下しました。私は留置場のなかで、その事を知り泣き狂いました。親が面会に来て「もう、これ以上、苦しめてはダメ！」開放してあげなさいという言葉に親さえも憎みました。本当に自分の事しか見えていなかったです。荒れていく私の生活と性格にも3刑目とうとう親兄弟も見放し私は天涯孤独になり、出所とともにダルクに繋がりました。そして私は薬物依存という病気である事・一人では回復できないことを知りました。ここでプログラムを受けて薬物を使わない生活（クリーン）を続けている先行く仲間と一緒に生活しプログラムをこなし、私も薬物抜きをしています。薬物抜きの生活ができていることがクリーンでいられる事を証明しています。52歳と年齢になり、遅すぎた回復への道ですが、10代から散々止められなかった違法薬物を今、止まっています。焦らず・ゆっくり、と、いう訳にはいきませんが・・・回復にむけて頑張っています。（ゆみ）



